

暴力的になる、物を投げてこわす…

⇒話を聞いて共感し、気持ちを落ち着かせて

【 認知症の人の状態 】

2022.6作成

病前性格などの
因子

- ・脳の機能が低下して感情が抑えられない
- ・今までできていたことができない焦り
- ・家族の言っていることができない不安
- ・自分は必要とされていないと感じる孤独感

身体的要因

心理的要因

- さらに、
- ・認知機能障害を受け入れられない
 - ・被害妄想的な内容に基づく場合
 - ・周囲からの不用意な対応

環境要因

など、環境から受けるストレスへの反応でもあります。そして暴力や暴言は、いつも身近にいてよく接する人に対して出る場合が多いのです。

【 対応方法 】

①家族は、まず落ち着きましょう。そして、ご本人の気持ちを落ち着かせることが大切です。

- ・ゆっくりと笑顔で穏やかな口調、ゆっくり待つ姿勢
- ・アイコンタクトと同じ目線での関わり

大声を出して止め、
力ずくで抑える



②本人の話をよく聞いて共感しましょう。（なぜ暴力的になったか原因やきっかけを考え、その後の暴力を防ぐヒントにする）

- ・本人の嫌がることは無理強いせず、意向や希望を確認する
（ケアの方法についての再検討）
- ・不愉快さや羞恥心への配慮

怒りのスイッチを探る

③暴力的な態度が続く場合、体調不良などが原因のこともあるため医師に相談をしましょう。身の危険を感じたら、一人で対応せず、ケアマネージャーや警察などにも相談して介護の態勢を検討しましょう。

参考文献：認知症の人と家族の会監修、認知症になった家族との暮らしかた、ナツメ社、2018、P64-67
山口晴保、紙とペンでできる認知症診療術、協同医書出版社、2016、P203、252
杉山孝博、認知症の9大法則50症状と対応策、法研、2013、P44-45

手に取れる範囲に、投げられてもいいようなものを少し置き、壊されては困るものは、手の届かない棚の上などに置いたり、隠したりしましょう。



医療法人社団つくば健仁会

とよさと病院

認知症疾患医療センター

TEL 029-847-9581

(月)~(水)(金)(土)9:00~16:00